



清 泉

令和8年4月28日
昭島市立清泉中学校
校長 佐藤 晴美

昭島市立清泉中学校 〒196-0024 昭島市宮沢町1-9-1
電話042-541-0762 FAX042-541-6869 <http://www.city.akishima.ed.jp/~seisen/>

令和8年度がスタート

先日、ある都立高校の校長先生が自校の特色やよさを伝えるためにご来校されました。説明が終わり玄関までご案内するとちょうど保健体育科の授業が校庭で行われていました。1年6組の生徒たちが授業者と大きな声で笑っていました（理由：「前傾姿勢になったら右か左かどちらかの脚が前に出るよね」と授業者がやってみて両足揃えてジャンプしたそうです）。一方で3年3組は真剣に集中した面持ちで授業に向かっていました（理由：100M走の記録を測定して自己ベストの更新を目指していたそうです）。その校長先生は授業を見ながら「清泉中はとてもいい学校です。学校に来た時もみんな大きな声であいさつをしてくれたんですよ。」と微笑まれていました。私たちにとって何気ない当たり前のことですが評価されるとうれしいものです。

さて、始業式・入学式からまだ1ヶ月は経過していませんが、すでに生徒会本部役員や各委員会の正・副委員長が様々な提案に来ています。「〇〇をやりたいです。理由は■■■をすることで・・・になりさらに清泉中がよくなると思うからです」と理路整然と提案説明をしています。私が危惧することを質問するとさらに「その場合は◇◇◇しようと考えます」などやり取りが進むのです。言葉のキャッチボールはお互いの思考を整理し、さらに新たな策ももたらしてくれます。このような清泉中のよさや強みが土台となって、令和8年度、清泉中がどのように進化（深化）していくか楽しみです。

始業式で新年度にあたり、私から生徒へ次のようなお願いをしました。

- 1：自分たちのよさや誇りを土台に今年度の取組を開始してください。
- 2：韓国に「行く言葉が美しければ来る言葉も美しい」ということわざがあります。ここにいるみんなが美しい言葉を発すると、清泉中のみんなが美しい言葉を受け取れます。幸せの春風を吹かせましょう。
- 3：本は実際に体験できないことが書かれています。また、自分の考えとは違う考え方をする主人公も現れます。数冊でもいいので、本を熟読し様々な人の感覚や感性に触れてください。

今年、清泉中ピブリオバトルをする予定です！楽しみに。



また、ある日ある時間の様子。5組は理科「生物」に関わる内容をデジタル教材にて学びを深め、4組は理科「薄い塩酸の電気分解」、2組は社会「欧米の進出と日本の開国」について教師からの疑問（問い）に対して自己の考えをまとめ、1人1台タブレットにて発信（入力）していました。3組は残念ながら保健体育のため教室には生徒はおらず。そして1組は国語の授業「世界はうつくしいと」でした。ちょうど私がクラスをのぞいた時、自分が考える美しいものをクラス全体で共有する場面でした。その内容がとても素敵だったのでここで紹介します。

「うつくしいもの」を挙げてみよう



- みんなが元気に登校すること
- 公園で子どもが走りまわっていること
- 教室に響くあいさつの声
- 朝の鳥のさえずり
- 部活動終わりの夕焼け
- 休み時間に友達と笑い合っていること
- みんなで食べる給食

他 多数

その発表後、教師から追加の問いが出ました。「この内容を聴いて何か感じたことはありますか」。3名の生徒が答えていました。その中の1人はこう語っています。「自分も体験したことがあるものばかりだったから『うつくしいもの』は、本当は身近にあるものなんだと感じました」と。

生徒の純粋な考えや思いに感動しつつも、学校としての責任を再認識させられました。生徒たちは本当に“今、この時”そして“ここ、清泉中”での1シーン1シーンを“うつくしいもの”として感じてくれてます（もしかしたらそうあって欲しいとの願望かもしれません）。その思いをしっかり受け止め、このことを胸に教職員一同、本校の教育の質の向上を目指し、力を尽くしてまいります。しかし、学校だけではできないことも多くございます。今年度も保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。